

ロイヤル・アフエア 愛と欲望の王宮 (2012)

EN KONGELIG AFFAERE
A ROYAL AFFAIR

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンس 歴史劇

製作国 デンマーク

色彩 Color

時間 137分

初公開日 2013/04/27

公開情報 アルバトロス・フィルム

映倫 PG12

【キャッチコピー】

国家を揺るがす、許されざる愛――。

【解説】

デンマークでは王室史上最大のスキャンダルとして誰もが知る18世紀後半の実話を、「007／カジノ・ロワイヤル」「偽りなき者」の名優マッツ・ミケルセン主演で映画化した歴史エンタテインメント。精神を病んだ国王の侍医となった野心家のドイツ人医師が、自らの立場を活かして啓蒙主義を理想とする改革を断行していくさまと、孤独な王妃との間に芽生えた禁断の愛の行方をミステリアスにして重厚な筆致で描き出す。共演はスウェーデン出身の新星アリシア・ヴィカンダーとデンマーク期待の若手ミケル・ボー・フォルスゴー。監督は「ミレニウム ドラゴン・タトゥーの女」の脚本で知られるデンマークの俊英、ニコライ・アーセル。

18世紀後半。英国王ジョージ3世の妹カロリーネは15歳でデンマーク王クリスチャン7世と結婚する。しかし精神を病んでいた王との結婚はすぐに絶望へと変わり、世継ぎが誕生して以降は王宮で完全に孤立してしまう。そんな中、外遊先のドイツで症状を悪化させた王は、医師のストルーエンセを侍医として採用、自国へ連れ帰る。ストルーエンセは王と友情を築き、徐々に信頼を獲得していく。その一方でストルーエンセが信奉する啓蒙思想は孤独な王妃カロリーネの心を捉え、2人は急速に接近していく。やがてカロリーネの進言を受けたストルーエンセは王を巧みに操り、事実上の摂政として次々と改革を実行していくのだったが…。

【クレジット】

監督	ニコライ・アーセル	Nikolaj Arcel
製作	ルイーゼ・ヴェスト	Louise Vesth
	シシ・グラウム・ヨアンセン	Sisse Graum Jorgensen
	ミタ・ルイーゼ・フォルデイガー	Meta Louise Foldager
製作総指揮	ラス・フォン・トリアー	Lars von Trier
	ピーター・オールベック・イェンセン	Peter Aalbaek Jensen
	ペーター・ガルデ	Peter Garde
原作	ボーディル・スティンセン＝レト	Bodil Steensen-Leth
脚本	ニコライ・アーセル	Nikolaj Arcel
	ラスマス・ヘイスターバング	Rasmus Heisterberg
撮影	ラスムス・ヴィデベック	Rasmus Videbæk
プロダクションデザイン	ニールス・セイエ	Niels Sejer
衣装デザイン	マノン・ラスムッセン	Manon Rasmussen

編集	ミッケル・E・G・ニルソン カスパー・レイク	Mikkel E.G. Nielsen Kasper Leick	
音楽	ガブリエル・ヤレド シリル・オフォー	Gabriel Yared Cyrille Aufort	
出演	マッツ・ミケルセン アリシア・ヴィカンダー ミケル・ボー・フォルスゴー トリーヌ・ディルホルム ダーヴィッド・デンシック トーマス・ガブリエルソン サイロン・メルヴィル ベント・マイディング ハリエット・ウォルター ローラ・ブロ	Mads Mikkelsen Alicia Vikander Mikkel Boe Folsgaard Trine Dyrholm David Dencik Thomas Gabrielsson Cyron Melville Bent Mejding Harriet Walter Laura Bro	ヨハン・フリードリ ヒ・ストルーエンセ 王妃カロリーネ・マ ティルデ デンマーク王クリス チャン7世